

郵政研究所通信

1 刊行物等の発行

- (1) 調査研究報告書の発行
 - 「家計における金融資産選択に関する調査（第6回）」（12月）
 - 「知的資産管理の現状と今後の展望に関する調査研究報告書」（1月）
 - 「インターネット上のコミュニケーションに関する調査研究報告書」（1月）
- (2) 郵政研究所研究叢書の発行
 - 「現代の金融と政策」（12月）
 - 「変革期の金融資本市場」（1月）
- (3) ディスカッション・ペーパーの発行
 - 「日本における転換社債の転換行動」（12月）
- (4) 金融・経済解説紙等の発行
 - 「NEWS BRIEF（経済指標解説）」（随時発行）
 - 「IPTPトピックス（金融経済解説）」（適宜発行）
 - 「IPTP ECONOMIC WEEKLY（週単位の経済・金融分析）」（毎週金曜日発行）
 - 「IPTP ECONOMIC MONTHLY（月単位の経済・金融見通し）」（毎月月上旬発行）

2 広報活動

- (1) P sat放映
 - 「少子高齢化の進展と年金制度」（12月20日）
 - 「ていぱーく製作ビデオ「郵便の届くまで」「切手のできるまで」「ていぱーく貸出資料紹介」（12月）
 - 「平成12年度経済・金融見通し」（1月）
 - 「月例経済・金融概観の解説」（1月）
- (2) 新聞・雑誌・学会誌等への掲載
 - 「A U.S. Japan Comparison of the importance and determinants of retirement saving」
Economic Letters #65（12月）
 - 「灯油」かんぼ資金（12月号）
 - 「8月の地域経済指標の総合的な動き」かんぼ資金（12月号）
 - 「障害者、高齢者に優しい情報通信」東海情報通信懇談会会報（12月号）
 - 「米国における電子切手について」郵政（12月号）
 - 「初期のお年玉付き年賀はがき」郵政（12月号）
 - 「重要文化財「エンボッシング・モールス電信機」甦る」郵政（2月号）、情報通信ジャーナル（2月号）、通信新聞（12月23日）、通信新報、テレビ東京（12月8日）、メトロポリタンテレビ（12月8日）

- 「デリバティブ」かんぽ資金（1月号）
- 「9月の地域経済指標の総合的な動き」かんぽ資金（1月号）
- 「拡大を続けるウェブサイト（仮題）」通信文化新報（1月）
- 「技術標準化と知的財産権」情報通信ジャーナル（1月号）
- 「お正月の双六」郵政（1月号）
- 「ていぱーく120%活用術(1)」郵政研究（1月号）

3 学会・大学・講演会等での発表

- 「最近の経済情勢について」北海道郵政研修所中堅科訓練講義（12月7日）
- 「累積的イノベーションにおける技術専有と特許クロスライセンス」一橋大学イノベーション研究センター（12月21日）
- 「郵便事業の動向等」東海郵政局管内中尾張全局長研修会（1月14日）
- 「ダイレクト・メールの動向」近畿郵政局郵便関係課長等会議（1月20日、21日）
- 「経済を見るポイントについて」熊谷特定局長会議講演（1月11日）
- 「最近の経済動向」西遠江連絡会拡大役員会議講演（1月11日）
- 「最近の経済情勢について」東海郵政局管内普通局長会議（1月21日）
- 「最近の経済情勢について」西駿河連絡会特定郵便局長教養講座（1月28日）
- 「情報通信の発展と規制緩和（仮題）」信越電監講演（1月24日）
- 「デジタル時代の放送経済分析」九州電監（九州テレコム振興センター）講演（1月25日）
- 「知的財産権、デジタルコンテンツ等について」近畿電監局（1月）

4 ていぱーくの特別展

- 「かわいいきれい！ 私だけのオリジナルクリスマスカード&年賀状 「大好きなあの人がへてづくり年賀状を送ろう」」（11月19日（金）～12月12日（日））
- 「冬休み・セサミと遊ぼう！」（12月19日（日）～1月10日（月・祝））
- 「関東絵手紙展」（1月19日（水）～2月6日（日））

◆ *Opinion* —読者の声— ◆

本号に掲載した論文等について、皆様からのご意見をお寄せください。本誌の中で随時取り上げていく予定です。宛て先は下記まで、所属先及び氏名を明記の上、お送り願います。

なお、郵政研究所では大学・研究機関等のホームページと積極的にリンクを設定していきたいと考えております。リンクをお考えの方は下記までE-mailにてお知らせ下さい。

【御意見等の宛て先】

〒106-8798 東京都港区麻布台 1-6-19 郵政省郵政研究所 研究交流課
 TEL:03-3224-7310 FAX:03-3224-7314
 E-mail: www-admin@iptp.go.jp

第12回郵政研究所 国際コンファレンス 「デジタル・ミレニアム時代の生活者像」 - 激動するメディア変容にどうかかわるか -

郵政省郵政研究所は、平成12年3月3日（金）13：30～、「デジタル・ミレニアム時代の生活者像 - 激動するメディア変容にどうかかわるか - 」をテーマに第12回郵政研究所国際コンファレンスを開催する予定です。

日 時：平成12年3月3日（金）13：30 - 17：55
（受付開始：12時30分）

場 所：経団連ホール（経団連会館14階）
東京都千代田区大手町1 - 9 - 4

主 催：郵政省郵政研究所

テーマの概要：

時代は新しいミレニアム(千年期)に入り、地球規模の社会的変革期を迎えようとしています。インターネットに代表される「デジタル革命」は発祥地である米国の社会・経済の再生を果

たしただけではなく、今や全世界に拡大しており、将来的には各地の文化や社会意識構造にまで影響を及ぼすことが想定されます。

我が国においても、近い将来には生活者を取り巻く情報メディアの急激な変化が予想されています。さらに将来に目を向ければ、インターネット、デジタル放送、移動体通信などの様々な情報メディアの変貌と融合が予想されており、主にビジネスの視点から、情報メディアの変化・発展に対して熱い関心が寄せられています。

その一方で、生活者の視点から、これから起こりうるメディアの変容にどう立ち向かうのかといった議論は少ないのが実情です。生活者たる我々は、変化するメディアを媒介にして、新しい時代・新しい生活の局面にどう対応していくのでしょうか。新たな『デジタル・ミレニアム時代』における生活者の意識構造はどのようなのでしょうか。

こうした観点から、本コンファレンスでは、生活者を取り巻く情報環境の変化が生活者自身の価値観に与える影響や、将来の生活者が望む情報メディア、それに対応する上での生活者自身の心構え(情報リテラシー等)について議論を行います。

参 加 料：無料

予定参加人数：400名程度（お申し込みが多数の場合は抽選とし、参加確認証の発送をもって発表にかえさせていただきます。）

申し込み方法：住所、氏名、電話番号を明記の上、2月22日（火）（必着）までに下記事務局あて往復はがきでお申し込み下さい。お申し込みいただいた方には折り返し参加確認証を送付いたします。

【お問合わせ先】 第12回郵政研究所国際コンファレンス事務局
〒106 - 8798東京都港区麻布台1 - 6 - 19
TEL : (03) 3263 - 5394 FAX : (03) 3263 - 4033
URL <http://www.iptp.go.jp>

プログラム：

13：40～14：30	基調講演1「デジタル革命による社会構造改革」 月尾嘉男（東京大学大学院教授）
14：30～15：30	基調講演2「米国のデジタル革命 - ソーシャル・ウェブ - 」 ハワード・ラインゴールド（科学ジャーナリスト・「HotWired」元編集長）
15：50～17：50	パネルディスカッション「激動するメディア変容にどうかかわるか」 コーディネーター：小林宏一（東京大学社会情報研究所教授） パネリスト： ：竹村真一（東北芸術工科大学助教授） ：長屋龍人（NHK放送文化研究所研究主幹） ：浜野保樹（東京大学大学院助教授） ：ハワード・ラインゴールド（基調講演者） ：百瀬いづみ（デジタルクリエイター）

* 講演内容が当日、一部変更となる場合もございますのであらかじめご了承下さい。なお、当日は同時通訳をご利用いただけます。また、当日は郵政研究所ホームページでインターネットライブ中継を予定しております。